

JAL退職者交流集会報告② 以下のQ&Aは、7月29日のJAL退職者交流集会における荒木克巳氏と丸山巖氏の両OB機長による講演記録を、読みやすく整理し加筆補正したのですが、テーマごとに5回に分けて掲載します。

②経営にももの申す。

現在の集会の参加者ですが、114名の方が参加されております。

それでは、おふた方に質問を再開したいと思います。

第1点目の質問は、OBがJAL経営にももの申すのがおかしいという意見もありますけれども、おふた方はどう思われていますか？

(荒木さん)

言わなきゃならないと思っているんですけどもね。この会社を潰されちゃあ、かなわんということがありますよね。

経営に対し、別にわれわれ退職者が何も遠慮することはないし、しかも、社会的な責任、在職する社員に対する責任というのは、当然、経営者にはあるわけですから、「それはおかしい、間違っているのではないか」ということがあれば、遠慮なくもの申すべきだと私は思っております。

(丸山さん)

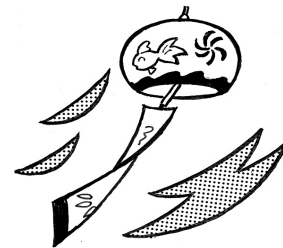
私は、ふたつの面があると思うんです。OBというのは、ひとつは航空会社の利用者でもあるということです。JALに乗るか、全日空に乗るか、どこの会社の飛行機に乗るかは別にして、とにかく利用者であるという立場は明確にあります。そのときに、不安全な会社の方がいいというわけにはいかないでしょう。なるべく事故を起こさないような、できれば落ちないような飛行機に乗りたいやね。そういう利用者の立場から、大いに問題を提起して、提言するということは当然のことで、これは当たり前だと思います。

それからもう一つ、われわれが持っている側面というのは、直接の利害関係者であるということです。年金問題で如実にそれが示されましたよね。5割だ、3割だと言ってね、こちらには罪もないのに勝手にどんどん切り下げられて、経営者はどっかに行っちゃった。西松のおじさんなんか、どこかの大学で講師やってるっていうんだから、いいタマだね。やっぱりこういうことはちゃんとおかしいと言うべきです。年金だけじゃなくって、健康保険料の値上げなど、みんなが批判もせず抵抗もしなければ、企業年金だけじゃなくて、国の公的な年金までどんどん切り下げられるわけですから、いろんな意味で直接の利害関係者としてもものを言う権利があるという、そういう位置づけがあるんだと思います。

だから、何も遠慮することはないんで、もう今さら退職したわれわれの整理解雇もできないから、どんどん文句を言うべきだと思いますね。

荒木さんがおっしゃるように、OBが主張しなければ駄目だと思いますね。

文句言わなきゃとんでもない世の中になりますよ。



(司会)

極めて明快なお答えありがとうございました。

次の質問ですけれども、JALは会社更生法下にあったわけで、破綻したわけですが、「銀行や株主に迷惑をかけた」ということについては、どういうふうにお考えでしょうか？

(荒木さん)

私もかつて、社員株主の一人でした。えらい損害を被ったわけです。

ですが、われわれ社員株主というのは会社の健全な経営を願ってということで株を買ったという側面もありますし、それに乗じて会社は「持ち株会」に入って株を持つよう誘導しました。しかし、それが今ではすべて紙くずとなっております。

一方、大株主というのは、投資が目的ですよ。それによって見返りを当然期待して株を持っているわけですし、銀行とか保険会社は、株の値上がり期待して、あるいはそこから利子や配当を得るために株を持っていたわけですから、すべて自己責任です。

それから、別の側面としては、資本主義の世の中ですから、株主というのは経営に対して「お前のやり方、おかしいじゃないか」と言える、一番大きな影響力を持っている筈なんです。それがつい2年ほど前まで、彼らは何かズルズルと見過ごしてきたんです。

結局大株主も自分の身に責任が降りかかるのは嫌だから、それを黙って見ているだけで、行政に頼っていたということがあると思います。ですから、銀行、保険会社、その他の大株主というのは破綻に対して大きな社会的な責任があると思っています。

(丸山さん)

株を買うというのはどんなことか、っていうことなんです。株を買って損をしようって人はいないわけですね。儲けようと思って株を買うわけでしょ？ 配当を当てにするのか、値上がりを待ってまた売ろうというのかどうか知らないけど、リスクを背負うというのは当然ですよ。だけど、すごく株が上がって、売り飛ばして儲けた株主が「従業員ご苦労さん」ということで、「社員にボーナスもって払ってやれ！」なんてハナシは聞いたことないでしょう。儲けるときはしっかり儲けているんだから、損した株主に申し訳ない、そんなことはないよね。もともと博打なんだから、私に言わせると。

私は面倒くさいから、そういうことは一切やらない。1万円札を1万5千円にして遣おうと思うから間違いが起きるんで、1万円は1万円で遣えばいいんですよ。とにかく、私の哲学では、こんなもの同情に値しない。損するのは勝手じゃないか、冗談じゃないよと。ちょっと言い過ぎかも分かんないけど、そういうことじゃないですか。それと、もっと細かく見ていくと、かつては、5千株未満の株主は全体の90%もいましたが、株式の保有率は13%にすぎませんでした。他方、たった0.1%未満の株主だけで66%の株式を持っていて、その中のわずか14社だけでも30%の株式を持っていたんです。

だから、大株主はその力を背景に、特別配当を受けたりいろんな場面でしこたま儲けてきたんです。例えば、日本生命なんていう会社は、悪名高いニューヨークの「エセックス」ホテルをJALに押し付けて、100年満室になっても儲からないというホテルをべらぼうな金額で売りつけて、そのときに「日本生命アメリカ」という子会社が日本航空に「買いなさい」と言って金を貸したんですよ。

利子が12パーセントです。当時の利子は国内ならせいぜい6パーセントです。大株主はそんなぼろ儲けをちゃんとやっていたんです。

私は株を持っていませんでしたが、片や「社員持ち株会」に投資した人は、最後まで何とか日本航空を支えようと思って日本航空の株を持ち続けたでしょう？ 紙切れになっちゃったじゃないですか。

それでなおかつ「株主に申し訳ない」なんて、何を言っているんだろうかと、私は思います。

経営者ならいざ知らず、すくなくとも社員が株主に謝る筋合いはないでしょう。

(司会)

次の質問は予定にない質問ですけれども、われわれは丸山さんのことを「丸山ガンさん」と呼んでいます。戸籍上の名前は「丸山巖(いわお)」さんですか？ 「巖(ゲン)さん」ですか？ 「巖(ガン)さん」ですか？

(丸山さん)

大むかし、若い頃に、あるスチュワーデスに「お名前は？」って訊かれたんで、面倒くさいから紙に「丸山 巖」って書いて渡したら、「ガンサン・イワオ」って読んでくれました。丸山をガンサンと読めないことはないし、巖をイワオと読める学のある人でしたが、「ガンサン・イワオさんですか？」って言うから、「違います」という問答になりました。みんなが本名で呼ばないで、あだ名で「ガンさん」、「ガンさん」って呼ぶものだから、こんなことになってしまいました。

エール・フランスとのジョイント・サービス(運航)でシルクロード(南回り欧州線)を飛んでいたときに、エール・フランスのスチュワーデスが一人日本航空の便に乗っていて、日本航空の人がエール・フランスの乗っているという、そういう時代があったんです。そしたらエール・フランスの姐さんが私のことを「ガンさんさん」って言ってくれましたね。人を呼ぶときゃ、敬称として「さん」を付けなきゃいけないんだろうと思ったらしく、みんなが本名で呼ばないからそんなことになって……。

でも、「まるやま・いわお」が本名です。スママセン。

